

(四) 依り記入する。
 (イ) 常時とは平常の作業
 状態に於て使用する職工數を謂
 ひ、一年を通して常に使用する
 職工數でもなければ、一年の平均
 使用職工數でもない。

(ロ) 職工とは、其の工場の
 目的とする作業の本業務に付
 き労働に從事する者を謂ひ、常
 倍、臨時等の雇別若は身分の如
 何に關りはない。

(ハ) 工業主又は其の家族等
 雇傭關係のないものでも職工と
 認質の作業をなす場合は職工數
 に含める。

(イ) 勞務者數

給仕、門衛、掃除夫、助方、配
 達夫及工場建物等の修理に從事
 する佐官、大工等一般労務者を
 指す。

(ロ) 满洲人には、來滿中の
 漢族、滿洲國籍を有する蒙古族
 等を含め、朝鮮人には内地人以
 外の日本國籍を有する者を含
 め内歎()として別示する。

其の他には、白系露人或は日滿
 以外の外國人を記入する。

(イ) 原動機

其の他の原動機とは、蒸氣機、
 電動機等である。

(ロ) 電力は動力用のみなら
 ず、熱用及灯用をも括記入す
 る。自家發電に付いては予算價
 格又は市價により記入する。

せざること。

(イ) 「指定機械及設備表」に記入する。

「指定期間内に於て、不定期の休業日及事故等に依る

臨時休業日を除きたる年間の實

作業日數とす。

(ロ) 工場内部の作業職場に
 中のものは勿論休止、予備のもの
 のも含む()を所定の單位に依り

記入する。

(イ) 工場場別に記入の

場合は、當該職場別に記入の

場合。

(ロ) 年間作業日數は、定期、シベヤー等の如く記入する事。

(イ) 三月末日現在に於て、

不定期の休業日及事故等に依る

臨時休業日を除いたる年間の實

作業日數とす。

(ロ) 「主要機械及設備」に記入する。

(イ) 一箇年間職工資銀支拂

は、定額賃銀の外、手當、サ

ラ、賃與等の貨幣賃銀と、賄

給、住宅等の現物給與を價額

に見積りたる額の合計額とす。

(ロ) 「主要機械及設備表」に記入する。

(イ) 「指定期間内に於て、

不定期の休業日及事故等に依る

臨時休業日を除いたる年間の實

作業日數とす。

(ロ) 「主要機械及設備」に記入する。

(イ) 一箇年間職工資銀支拂

は、定額賃銀の外、手當、サ

ラ、賃與等の貨幣賃銀と、賄

給、住宅等の現物給與を價額

に見積りたる額の合計額とす。

(ロ) 「主要機械及設備表」に記入する。

(イ) 「主要機械及設備」に記入する。

(ロ) 「主要機械及設備表」に記入する。

門別に區分し、最後に要素別又は部門別に集計せられたものをお求めるものであります。

現代工業政策論

大漢和辭典(第一卷)

原價計算簿記

日本地名大辭典

(第一六卷)

今日の日本經濟學會報

第四回日本經濟學會報

告書

人の資源論

印刷業本

原價

顧客

部喜一

諸構織

大修

有

開

大同書院

所

編

妻

開

鐵道貨物運賃表見表

手形

小切手の知識

印刷

業

最近支那政治制度史

日本

地名大辭典

原價

顧客

鐵道貨物運賃表見表

手形

小切手の知識

印刷

業

門別に區分し、最後に要素別又は部門別に集計せられたものを求めるものであります。

個々の商品別に計算することを

は

部門別に區分し、最後に要素別又

は部門別に集計せられたものを

は

門別に區分し、最後に要素別又

は

